

対馬紀行

事務局長 池田良穂

本当に久しぶりに対馬を訪れました。最初の訪問はまだ学生時代で、2回目は大川海運産業からの依頼でフェリーの運動性能調査をした時でしたが、それも20年近くも昔の話です。今回は「日本の旅客船2」に足りない「フェリーげんかい」の写真を撮るのが第1の目的でしたが、もうひとつ釜山と対馬間の高速フェリーの現状も見てみたいと思っていました。それというのは数か月前にテレビを見ていて、対馬に韓国人観光客が押し寄せていて、土地の買い占めまで始めているという若干批判的な内容の番組でした。住民へのインタビューも、どちらかという批判的な意見を中心に紹介してのストーリー作りをしており、本当なのだろうかという疑問がわきました。

折しも、日韓の関係悪化が顕在化しており、それが訪日韓国人観光客にどのような影響を与えているのかも心配でした。博多～釜山航路の観光客数が40%近く減ったとの報道も目にしていました。

これまでの訪問ではフェリーもしくはRORO貨物船で対馬まで渡っていましたが、今回は時間もなかったため、飛行機を乗り継いで対馬に出かけました。大阪から福岡経由で対馬やまねこ空港へ。福岡からの飛行時間はわずか30分です。

空港に降り立ち、レンタカーを借りて対馬の北端にある比田勝港に向いました。「フェリーげんかい」は博多港と比田勝港を結んでいますが、博多港の入出港は夜間なので、対馬でしか写真がとれないのです。

比田勝の港に着くと、港内には「フェリーげんかい」の他に5隻もの国際航路フェリーが分散して係船されていました。ジェットフォイルが3隻と、双胴の高速旅客船が2隻で、いずれも釜山の港で何度も出会った船でした。釜山からの航海時間はどの船でも1時間前後。朝10時頃に着いて、16時前後に出港するというパターンでの運航で、5～6時間余りの日帰りの旅行をするのが定番のようです。分散して停泊していたのは、国際埠頭には3隻しか停泊できないため、旅客を降ろした後シフトして係留されているためでした。

対馬市の統計によると、韓国からの観光客は41万人余りにのぼり、対馬経済を支えているとのこと。比田勝の国際ターミナルの受付で聞くと、最近、日韓関係の悪化で半減しているとのことでした。しかし当日でも5隻も停泊しているので「本当？」と聞くと、多い時は1隻が2往復することもあるのだとか。「早く日韓関係が良好になってくれれば」というのが、地元の人の感想のようでした。

15時に出港する「フェリーげんかい」を見送った後、16時から続々と出港する「ビートル」姉妹、「コピーV」、「オーシャン・フラワー」、「ニナ」を見送りました。

撮影を終えた後、2時間半ほどのドライブで厳原まで移動して、中心街にそびえる東横インに宿泊しました。ホテルのロビーは韓国人観光客で溢れていました。ちょうど港まつりの当日で、朝鮮通信使の仮装行列に参加する韓国人の団体のようでした。地元の新聞によると派遣中止を宣言した釜山市長に対して、釜山の大学学長が「民間交流は続けるべき」と進言

して、派遣規模は縮小したもののやってきてくれたとのことでした。

翌朝、厳原港を出る「フェリーちくし」、RORO貨物船「フェリーたいしゅう」の出港を見送り、空港近くの港で対馬市営の渡海船「うみさちひこ」の撮影をしました。この渡海船は浅茅湾の周りの村落を結んでいます。厳原港に戻ると、釜山から高速旅客船「オーシャン・フラワー」が入港していました。昨日は比田勝航路に停泊していましたが、お祭りに参加した韓国人の人々の輸送のためかもしれません。

政治・経済の摩擦はあっても、民間交流は従来通り続いてほしいと思います。観光には平和を保つ大事な役割もあります。



比田勝港を出港する九州商船の「フェリーげんかい」。博多港との間を結びます。毎日、早朝に入港して、午後に出港しています。



比田勝港に並ぶ釜山航路の高速旅客船群です。左の国際ターミナルに3隻、右手の貨物船用の埠頭に1隻停泊し、さらに画面には写っていませんが、国内フェリーふ頭の一面に1隻が停泊していました。



比田勝港の国際船用のターミナル。



ビートル二世の出港です。

出 発	DEPARTURES	출발
時間 TIME	船種 TYPE	船名 SHIP'S NAME
14:00	定期 SCHEDULED	BEETLE 2
16:00	定期 SCHEDULED	BEETLE
16:10	定期 SCHEDULED	KOBEE V
16:30	定期 SCHEDULED	OCEAN.F
16:45	定期 SCHEDULED	NINA

ターミナル内の出港スケジュール表示板です。この日は5便の就航でした。



ビートルの出港です。



コピーVの出港です。



翌朝、厳原港を出港する「フェリーちくし」の姿です。



オーシャン・フラワーの出港です。



続いて「フェリーたいしゅう」が出港していきました。



ニナの出港です。



厳原港に停泊する RORO 貨物船「フェリーつばさ」です。



比田勝港の一画には遊覧船が係船されていました。



浅茅湾内の県営渡海船「うみさちひこ」です。朝夕2便の運航のようで、走行中の姿を写真に収めることはできませんでした。浅茅湾では、高速ポートによるチャータークルーズも始まっています。